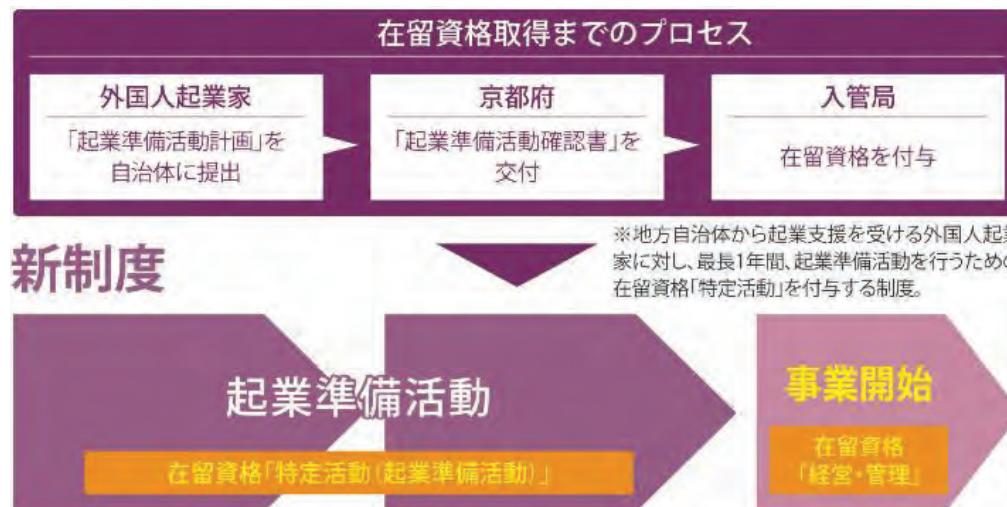


スタートアップビザ認定件数

・2020年4月認定



府・市・関連機関による各種サポート

- 専属スタッフによる、ハンズオンサポート
- 起業家のニーズに合わせた支援プログラム、助成制度、イベント等の案内
- 日本での生活全般について幅広くサポート



行政書士・司法書士等からのリーガルサポート

- 起業及び経営に関する外部有識者
 - 大学教授・ベンチャーキャピタリスト
 - 中小企業診断士

分野別のスペシャリスト(起業家等) ライフサイエンス ソーシャルビジネス 等

コンサルティングサービス

▶法務・行政 ▶戦略・経営
▶人事 ▶税金 ▶産業 etc...

・認定数：4件

・相談：111件（～2021年6月）

業種：アプリ開発、サイバーセキュリティ
コンテンツ開発 等

・事例



氏名：張 舜智（ショウ シュンチ）

出身：

台湾（元・立命館留学生）

内容：小規模飲食店を対象としたクラウドメニューAPP「funfo」を開発

氏名：Ong Ling

出身：シンガポール出身

内容：京都の伝統技術や

先端技術を生かした内装資材の販売・ネットワーク構築

・海外へのPR（動画・冊子）



・各種サポートにほか、特定創業活動中には

- ①無料でコワーキング施設の利用
- ②法人設立費用の土業の費用負担補助 等の支援も実施

都市の魅力（強み）の向上 世界から京都で起業したいというグローバルな人材が集まる環境の創造



「Japan Hackathon」

[主催：ジャパンハッカソン実行委員会]

第1回 R2. 6. 26–6. 28 第2回 R3. 2. 5–2. 7

世界63か国から延べ493名が集まる国際イベントをオンライン開催

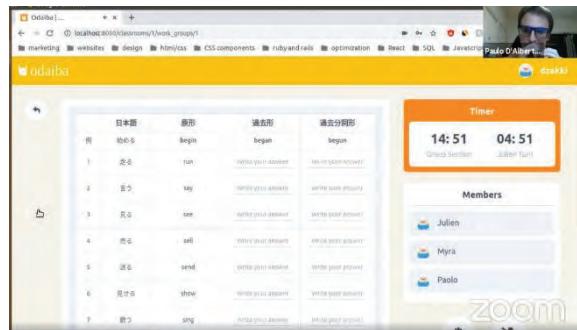
テーマ： 第1回目 リモートワーク / 第2回目 SDGs × Deep Tech



[参加国別の参加者数]

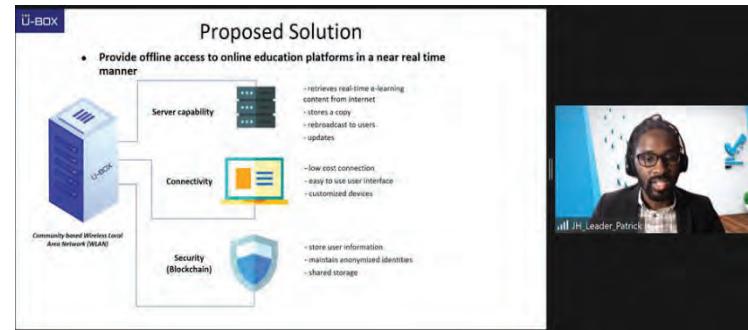
イラク 109人、パキスタン 68人、インドネシア 50人、アルジェリア 34人、インド 33人、
ロシア 26人、日本 24人、イスラエル 13人、中国 9人、レバノン 8人 他

※人数は2回の延べ数



▲第1回の最優秀賞アイデア

二人一組で取り組むリモート教育ツール



▲第2回の最優秀賞アイデア

無線ブロックチェーン網を構築しインターネット未普及地域へ教育を提供

※

ジャパンハッカソン実行委員会

世界中に留学生ネットワークを持つ京大起業部インターナショナルを中心に、京都府、
(一社)京都知恵産業創造の森、(公財)京都産業21、関連企業などで構成

Kyoto University International
Entrepreneurship Club

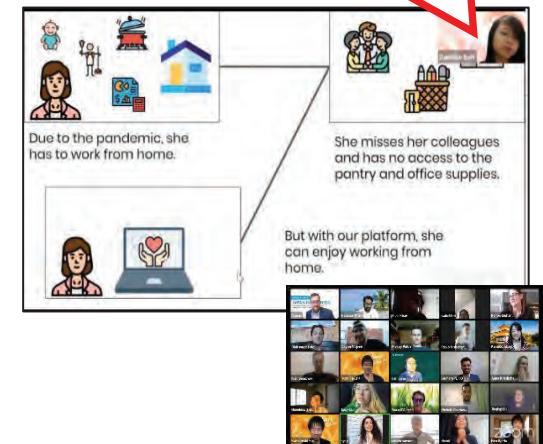
京都府
KYOTO



京都知恵産業創造の森

Ki21 公益財団法人
京都産業21

シンガポールから
10歳児も参加！



都市の魅力（強み）の向上 グローバルネットワークの構築し・及び世界のマーケットへの展開を支援

Kyoto Innovation Night（2回開催）※第1回目京阪神連携セッションについては京阪神版に記載

ベンチャーカフェ東京と連携した取組。計2回で約800人が参加。

1回目は、京都発のオープンイノベーションの取り組みや「伝統から革新」へのアプローチ、米国・ボストンをはじめとする国内外のスタートアップ・エコシステムとの連携等について紹介。

2回目は「新たな京都のショーケース」「コミュニティー」等を切り口に実施。



- ・5つのテーマで複数のセッション実施
- ・スタートアップビザ取得者も登壇
- ・新たな起業家誘導のためSlackコミュニティを設立
- ・相談コーナーも設置

<テーマ>

- ・外国人起業家など「よそのもの」となぜつながるべきなのか？
- ・京都のコミュニティでイノベーションをどのように創出していくのか？
- ・テクノロジーと調和したまちづくりをどのように進めていくのか？
- ・京都で外国人が起業をするためには？
- ・京都は若者にとって魅力的な場所なのか？

京都スタートアップエコシステム推進協議会

● 2020年9月8日

京都スタートアップエコシステム推進協議会



● 2021年1月15日／2月25日

ワーキンググループ（プレシード期支援）

協議会で抽出された課題への対応例

①プレシード期支援

スタートアップが気軽に相談できる場の構築
(相談相手：首都圏VC、士業など)

②各組織の実施する支援の見える化

支援策一覧を作成し、支援の偏り等を把握

③情報発信の一元化

京都スタートアップエコシステムを周知するウェブページを構築（日・英）



④エンジエル投資家のコミュニティ形成

ディープテックスタートアップを対象に、京都のものづくり経営者から、各種支援を提供



京都の強みを伸ばす取組

申請書に記載の京都の比較優位を持つ以下の3つの産業領域のスタートアップを支援することで、
スタートアップの創出・ビジネス展開を支援



ライフサイエンス



ものづくり



ソーシャル
イノベーション

【1】 ライフサイエンス分野

iPS細胞をはじめとする
研究シーズが豊富、
ノーベル賞受賞者を多数輩出

【2】 ものづくり分野

スタートアップの量産化試作
支援・最先端技術を活かす
ものづくり大企業の集積

【3】 ソーシャルイノベーション分野 (グリーンイノベーション・IT)

SDGs先進都市としての高い評価、
スマートシティーエキスポKyotoの
開催など、先進的な取組の実施

大学発IT（AI・VR等）
スタートアップの集積

ライフサイエンス分野

OHVCKYOTO 2020 (2020年10月19日 オンライン開催 (主催 : JETRO、京都府、京都市、KRP))

スタートアップがグローバル市場からの「生の声」を得られるよう、グローバルなヘルスケア企業やプロのメンターと提携し、グローバル企業の前で英語でピッチする機会とトレーニングを提供している京都発のプログラム。スタートアップピッチだけでなく、世界の製薬会社、バイオテクノロジー、医療技術、ベンチャーキャピタルなどのパートナーセッションやビジネスマッチングも実施。

HVC KYOTO 2020 Partners



個別面談可能：ブリストル・マイヤーズスクイブ（株）



ライフサイエンス分野

○「产学公の森（企業の森・产学の森）推進事業」（京都府・産業21）

R3～
府外SU可

中小企業者の「強み」を持ち寄り、大学等研究機関等の参画により、高い付加価値が感じられる製品創出、販路開拓等を行う、産産・产学グループの取組を支援。（R2実績：30件）

＜成果事例＞

（株）HACARUS 令和2年11月シリーズB資金調達

子宮頸がんの予防、早期診断に用いるAIシステムを京都大学と共同で開発。ビッグデータ不要のスパースモデリング技術を活用。



HACARUS ×

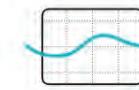


ビッグデータ不要の
スパースモデリング技術



HACARUSの採用するスパースモデリング
AIは、少量データでも高精度ソリューションを提供します。

「その結論に至った理由」を
解釈できるAI



HACARUSのAIは、結論にいたった根柢も
フィードバック。「知」の見える化で、次の
適用への応用も期待できます。

高速かつ低消費電力。
さまざまな実行環境に対応。



少ないデータの取り扱いで済むAIのため。
専用システムでない、ユーザーの既存環境
でも実行可能です。

○京都発革新的医療技術研究開発助成事業（京都市・ASTEM）

- 補助金額：大学研究者…上限130万円、
スタートアップ等…上限100万円
- 採択件数：24件（令和3年度）

市内の大学研究者及び中小企業者を対象に、新たな医療機器や医薬品等の創出につながる革新的な医療技術に関する研究開発を支援。

＜成果事例＞

（株）マリ

非接触睡眠評価装置の実現を目指した市販ミリ波レーダーを用いた心拍間隔計測装置・ソフトウェアの開発

リジェネフロ（株）

常染色体優性多発性囊胞腎(ADPKD)に対する
新規治療薬探索のためのプラットフォーム構築

ライフサイエンス分野

「京のヘルスケアインキュベーションプログラム」

[主催:京都府 (R2. 10. 1 – 12. 29)]

WITH・POSTコロナ時代におけるヘルスケア関連の新ビジネス創出のため、大手企業新規事業開発チームやスタートアップ企業、起業前の学生等を対象としたインキュベーションプログラムを開催



最優秀賞：ママと産前産後ケア提供者を繋ぐオンラインサービス

内容：産前産後ママの悩み解決のためのオンライン相談と専門家とのマッチングのためのプラットフォームを提供

成果：プログラム終了後1ヶ月後で起業（株式会社Rubans設立（R3. 1））

ライフサイエンスベンチャー創出支援事業（京都市・ASTEM）

ライフサイエンス分野（先端医療技術、医療機器、ヘルスケア、福祉・介護等）におけるベンチャーの起業を目指す人材に対し、ビジネスモデル構築等の支援を行い、新産業を創出する

○支援内容

- ・メンターによるハンズオン支援
- ・ビジネスプラン構築に係る調査の実施
競合特許調査、市場性調査等
- ・専門家派遣
弁護士、弁理士等との個別相談

○実績

平成29年度：採択4名、うち4名が起業
平成30年度：採択3名、うち2名が起業
令和元年度：採択3名、うち2名が起業
令和2年度：採択3名
令和3年度：採択3名

ものづくり分野

○ Kyoto Makers Garage (京都市・Monozukuri Ventures)

京都を世界のハードウェアベンチャーの支援拠点に！！



<ものづくりの一般的なプロセス>



★資金調達に成功しても、量産化試作につまづくケースが多い。

★事業化に成功するためには、製品の量産化段階における技術面での支援などに取り組む必要がある。

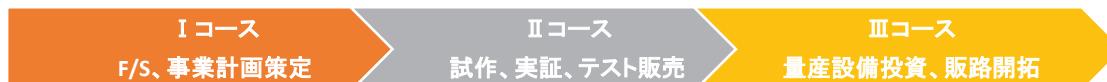
京都の試作技術で量産化・事業化を支援

【拠点機能】

- ものづくりベンチャーの事業化支援
- 交流・ものづくりスペースの運営
- ものづくりベンチャー起業教育
- ハードウェアカップ、ハッカソン、オープンイノベーションの場

○ 「エコノミック・ガーデニング支援強化事業」(京都府・産業21)

- 中小企業が持つ独自の「強み」を活かした新商品開発や新分野進出実現のための事業化の取組を、事業計画段階から本格展開までを一貫支援するパッケージ型＆伴走型の支援制度



- 令和2年度採択：41件、402百万円

“どこでも窓”を開発するスタートアップ。補助金活用によりディズニーとのコラボモデル「Atmoph Window 2 | Disney」を開発・ローンチ

≡ ATMOPH



ソーシャルイノベーション分野（グリーンイノベーション・IT）

○「京都スマートシティエキスポ2020」（ハイブリッド開催）

ICT等の活用により、様々な社会課題を解決する「超快適」スマート社会の創出をテーマに開催

- 出展企業数 56社
- 参加登録社 3,796名
- セミナー視聴数 6,930名
- WEB展示閲覧数 21,099件



▲石黒教授（阪大・ATR）、松山副住職（妙心寺退蔵院）、
アンドロイドERICAによる鼎談

○社会課題解決に取り組むスタートアップ向け補助制度

京都府「テーマ募集型社会課題解決プロジェクト事業費補助金」

- 補助率4／5、上限100万円
- 人件費も対象
- 起業前でも申請可（R27件採択中2件が起業前）



ハイリスク妊婦向けPHRアプリの開発
(R2.11設立スタートアップ「FamiLeaf」)

